【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公開番号】特開2011-150819(P2011-150819A)
【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-031
【出願番号】特願2010-9613(P2010-9613)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　2/34　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　2/26　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/13　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/139　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　10/052　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　10/0566　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　10/0587　(2010.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　2/34　Ｂ
Ｈ０１Ｍ　2/26　Ａ
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０１
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０８
Ｈ０１Ｍ　10/00　１０２
Ｈ０１Ｍ　10/00　１１１
Ｈ０１Ｍ　10/00　１１８

【手続補正書】
【提出日】平成25年3月5日(2013.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
帯状の正負極板が捲回された電極群と、前記電極群の軸方向の両側にそれぞれ配置された板状の集電部材とを備え、前記正負極板からそれぞれ導出された集電リードの先端部が前記集電部材に接合された有機電解液二次電池において、
前記帯状の正負極板の集電リードには、有機電解液に対して耐溶性を有する絶縁層で被覆されていることを特徴とするリチウム二次電池。
【請求項２】
前記絶縁層は、熱可塑性樹脂、及び加熱・紫外線照射又は電子線照射により架橋する硬化性樹脂のいずれかの合成樹脂であることを特徴とする請求項１に記載のリチウム二次電池。
【請求項３】
前記絶縁層は絶縁性フィラーと前記合成樹脂の混合物であることを特徴とする請求項２に記載のリチウム二次電池。
【請求項４】
前記絶縁層の厚みは、合剤層の厚み以下であることを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載のリチウム二次電池。
【請求項５】

前記絶縁層は電極合剤を圧延した後に、正負極板の集電リード部にのみロールコーター方式，グラビア印刷，オフセット印刷，凸版印刷，インクジェット方式のいずれかの方式にて絶縁層を塗布，硬化して作製することを特徴とする請求項１から４のいずれかに記載のリチウム二次電池用電極の製造方法。